

多摩川の自然を考えるシンポジウム開催

日本野鳥の会神奈川支部
鈴木 茂也

Tamagawa tideland symposium

Sigeya Suzuki

日 : 10月27日(土)
【多摩川河口の自然を考えるシンポジウム】
時 間 : 13時30分～19時00分
場 所 : ラゾーナ川崎 5階「プラザソル」
電 話 : 044-874-8501
主 催 : 日本野鳥の会神奈川支部
後 援 : (財)WWFジャパン
(財)日本野鳥の会
(財)日本自然保護協会
NPO法人神奈川県自然保護協会
NACS-J自然観察指導員東京連絡会
協 力 : 多摩川流域ネットワーク
定 員 : 200名(先着順)
参加費 : 無料

多摩川河口は、神奈川県で唯一最大の干潟です。干潟周辺には川と海を結ぶ重要な自然生態系があります。その多摩川河口に神奈川県などが進める「神奈川口構想」があります。「神奈川口構想」の1つは羽田空港側からアクセス道路を川崎市へ繋げる構想です。多摩川河口の自然を考える上で、大きな影響をもたらす恐れのある計画です。色々な立場で多摩川河口について、考えるシンポジウムを実施しました。

講演
「多摩川河口の自然」 鈴木茂也 (日本野鳥の会神奈川支部)
「吉野川の橋梁が干潟に与える問題点」 井口利枝子 (とくしま自然観察の会)
「多摩川河口干潟の生物観察活動」 鈴木覚(海辺つくり研究会)
「東京湾再生に向けての横浜技調の取り組み」 諸星一信(国土交通省関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所 所長)
「神奈川口構想について」 林秀明(神奈川県企画部京浜臨海部活性推進課 課長)
「戦略的環境アセスメントとは何か」 村山武彦(早稲田大学教授)

パネルディスカッション

コーディネーター : 浜口哲一(日本野鳥の会神奈川支部顧問)
パネラー : 花輪伸一(WWFジャパン)
上田大志(NACS-J自然観察指導員東京連絡会)
上記講演者

多摩川河口は、神奈川県で唯一最大の干潟です。干潟周辺には川と海を結ぶ重要な自然生態系が広がっています。その多摩川河口では神奈川県などが「神奈川県構想」を進めています。「神奈川県構想」のひとつに羽田空港側からアクセス道路を川崎市へ繋げる構想があり、これは多摩川河口の自然を考える上で、大きな影響をもたらす恐れのある計画です。色々な立場から多摩川河口について考えるシンポジウムを開催します。

多摩川河口の自然を 考えるシンポジウム

2007年10月27日(土)
13:30 - 19:00

ラゾーナ川崎プラザソル

●会場 J 川崎駅西口から徒歩5分、ラゾーナ川崎プラザ5F TEL.044-874-8501

●定員 200名(先着順) ●参加費 無料

●講演 「多摩川河口の自然」鈴木茂色(日本野鳥の会神奈川県支部)、「首都圏河口の機能と干潟」井口利枝子(とくしま自然館審議会)、「多摩川河口干潟の生物多様性」鈴木実(海辺づくり研究会)、「干潟の開発と社会システム」滝野裕子(東京大学大学院助教)、「東京湾再生に向けての環境技術の取り組み」野尾一徳(国土交通省関東地方整備局長横浜港湾空港技術開発事務所長)、「神奈川県構想について」林芳明(神奈川県企画部部長)、「戦略的環境アセスメントとは何か」村山武彦(早稲田大学教授)

●パネルディスカッション/コーディネーター: 長口節一(日本野鳥の会神奈川県支部顧問)、パネラー: 花輪伸一(WWFジャパン)、上田実志(NACs-J自然観察指導員東京連絡会)、講演者

●シンポジウム終了後、同会場で懇話会(会費3,000円程度)を開きます。是非ご参加下さい。

●問い合わせ/日本野鳥の会神奈川県支部(石井隆) GZ402213@nifty.jp
http://www.nmnp.or.jp/web/jv/

●主催/日本野鳥の会神奈川県支部 ●後援/財団法人WWFジャパン、財団法人日本野鳥の会、財団法人日本自然保護協会、NPO法人神奈川県自然保護協会、NACs-J自然観察指導員東京連絡会 ●協力/多摩川流域ネットワーク

このシンポジウムは2007年度のPRO NATURA FUNDによる助成金によって開催されます。

pro natura Foundation-Japan NACS-J

図1 シンポジウムのポスター



写真1 シンポジウムの写真